

れんぎ
認定特定非営利活動法人 **日本雲南聯誼協会**

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1階

Tel: 03-5206-5260 Fax: 03-5206-5261

Email: yunnan@jyfa.org URL: http://www.jyfa.org/

【昆明代表処】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室

Tel. +86-871-63311468 Fax. +86-871-63320658

f http://www.facebook.com/NPO.JYFA @jyfa

ブログ

編集・発行人 初鹿野 惠蘭

印刷協力 昭和情報プロセス(株) (株)技術評論社



Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

第76号

発行日 2021年(令和3年)6月15日

会報

「25の小さな夢基金」

日本語で未来をひらく

これからの20年に向けて未来の人材を育てる
～日本語授業が始まりました～



「知識で運命を変える」。その言葉通り、少数民族地域で育った少女たちをサポートする「25の小さな夢基金」プロジェクト。プロジェクト開始以来様々な活動を行ってまいりましたが今回新たに「日本語授業」を導入し、3月28日より本格的に始動しました。

生徒たちの日本語学習への興味をかきたて、異文化交流への意識を向上させるため、新世界教育集団櫻華国際日本語と雲南大学滇池学院日本語学科の多大なるご協力のもと、毎週日曜日に正規授業として行われています。カリキュラムは日本語教材として定評のある新世界教育集団出版の「新編日語教程1」を採用し、69名の春蕾生が受講しています。桜にほんご学校昆明中心の日本語教師によって五十音の発音や基本の書き方から始まり、リスニング、会話、読解、作文など丁寧にしっかりとした授業となっています。

新世界教育集団ご挨拶

語学の魅力を春蕾生へ

今回の昆明市女子中学での日本語授業はスタート直後から大人気で、生徒たちは学びを通じて語学の魅力を実感しています。しばらくすると、みんな日本語学習への思いについていろいろと書き記すようになりました。この思いの中にはどれも、日本語を頑張って勉強したいという気持ちが綴られています。一年二組のある生徒はこのように書いています。

「はじめの授業で先生からカタカナとひらがなを教わり、初めて日本語というものについて知りました。その後学んだ五十音表では、まるで絵のように可愛らしい記号に驚きました。日本語の基礎とは、このひとつひとつの小さな文字と発音なので、とても

珍しく、発音も聞き心地がよくて、アニメを見るときに言葉を真似して言うのですが難しくなかなか発音できません…」。

生徒たちは日本語学習への興味に加え、先生たちが話してくれる日本の衣食住や旅行、日本の文化もまた大好きで、視野が広がったことで自分たちの未来にも無限の可能性があると想像しているようです。

新しい言語を学ぶということは成長につながります。特に、使用範囲の広い言語を習得することは、人生を歩む上でチャンスが広がることを意味します。非営利教育の課程というものもここから来ています。子どもたちは良い成績をあげることで、勇気をもってこれからの人生を歩むことができるのです。

私たちは、非営利教育計画がより順調に実施されることを心より願っています。各界の協力者の皆様とともに日中文化交流のかけ橋となり、昆明市女子中学の生徒たちの成功への道を整え、日中の文化教育交流により大きく貢献できるよう努めてまいります。

【プログラム提携団体】
桜にほんご学校(新世界教育集団) 昆明中心、
雲南大学滇池学院日本語学科



の道を整え、日中の文化教育交流により大きく貢献できるよう努めてまいります。

日本語授業を通して起きた変化

～春蕾生からの感想文～

多くの人がこの授業を選んだ理由はそれぞれだと思いますが、私の場合、コースが始まる当初は正直気乗りしていませんでした。しかし将来の自分のためだと思い、やるからには真面目な姿勢で好奇心を持って臨もうと日本語授業に参加することに決めました。

私は日本語の初心者で、今は五十音図からカタカナ、ひらがなまで勉強し、先生が教えてくれた暗記法を使い発音と書写を一生懸命覚えています。日本語を勉強する時、先生は言語だけではなく、日本文化について

でも話しながら授業を進めてくれます。そこで、私はもともと日本についてよく知らなかったのですが、だんだん日本の文化が好きになっていきました。

一学期の日本語の勉強を通して、私は日本語がとても好きになりました。まだ内容は基礎レベルですが、これからもっと勉強して行きたいと思います。

2020年入学 李秋敏

学ぶ喜びを少女たちへ

少数民族の女子教育支援
「25の小さな夢基金」

まだ44名の生徒の
里親サポーターが
決まっておりません



昨年9月入学の春蕾生181名のうち、皆様のおかげでこれまでに137名の里親サポーターが決まりましたことをご報告いたします。現在、まだ44名の春蕾生の里親サポーターが決まっておりません。彼女たちが高校卒業という夢に向かい、経済的に安心して勉強が続けられるようご支援をお願いいたします。

——里親サポーターになると——

支援生徒とお手紙を通じての交流でき、支援金だけの一方的な支援ではなく、心と心が通う交流ができます。皆様のご支援をお待ちしております。

※「25の小さな夢基金」への支援は税額控除の対象になります。詳細は協会公式HPの「25の小さな夢基金」のページをご覧ください。

詳細は：
協会公式HP <http://www.jyfa.org> → 「教育支援」 → 「25の小さな夢基金」

お問い合わせ・お申し込み
東京本部事務局 TEL 03(5206)5260
yunnan@jyfa.org (月～金、10～18時)

遠く離れていても心と心が繋がる —第13期生オンライン卒業式開催—



新型コロナウイルスの流行で雲南への渡航が難しいため、第13期生89名の卒業式は、今年も昆明市女子中学と東京本部、サポーターの皆さまをオンラインでつないで中継します。

画面越しではありますが、春蕾生から皆

様へ3年間のご支援への感謝を伝えさせていただきます。皆様の想いも届けることのできる卒業式となっております。3年間、夢に向かって頑張った春蕾生たちの卒業を一緒に祝い、夢へ向かってはばたく感動の卒業式にぜひご参加ください。

詳細が決まりましたら、協会公式HP、Facebook等のSNSでお知らせいたします。



子どもたちの健やかな心と体を育てる

中華人民共和国駐日本国大使館提唱プロジェクト「旅日僑胞助力脱貧攻坚公益行動」

～サッカーグラウンド完成～

金平県者米ラフ族郷は紅河ハニ族イ族自治州の南部に位置し、さらにこの地域は最低標高385メートル、最高標高は3,074メートルと、標高差が大きく、国境沿いにあるため政府の支援から取り残されていました。



完成したばかりのサッカーグラウンド

2018年初鹿野理事長は地元の教育部門のご紹介で者米中学校のサッカーグラウンド建設プロジェクト

を視察し、この度協会法人会員のJR 総連と株式会社セレクトリンクスからの支援金と現地政府を通じて上海市より寄付していただきました支援金を合わせて、金平県者米郷に初めてのサッカーグラウンドを建設し、完成しました。

このような貧困地域でのスポーツの教育支援を通じて、穏やかな心と体を育てる支援を続けていきます。



第21回定時総会終了の報告

第21回定時総会が下記の通り行われました。

日時：令和3年5月29日(土)

場所：株式会社技術評論社5階会議室

議長：遠藤功 副理事長

司会進行：中村有里子 理事

【議案】

第1号議案 令和2年度事業経過報告について

第2号議案 令和2年度会計収支決算報告・会計監査報告について

第3号議案 令和3年度事業計画案審議について

第4号議案 令和3年度会計収支予算案審議について

第5号議案 理事選任について

議案について審議し、原案通り全ての議案が承認されましたことをご報告申し上げます。

ご出席いただきました皆様、委任状または書面議決書をご提出いただきました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためご参加者の皆様にはアルコール消毒と検温にご協力いただき、安全対策をしっかりと行いました。



「25の小さな夢基金」

卒業生から感謝と近況報告の手紙がとどきました

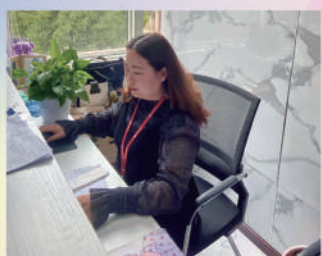


親愛なる日本雲南聯誼協会の支援者の皆様、こんにちは！

私は昆明市女子中学春蕾クラス2016年の卒業生です。在学中、日本雲南聯誼協会の皆様と丁勇軍さんに奨学金などの支援をいただきました。2016年に雲南経済管理学院の幼児教育専攻に進学し、2019年7月に就職しました。短い数年の間に、何も分からない少女から社会人になりました。これもひとえに昆明市女子中学と日本雲南聯誼協会の皆様のおかげです。皆様の支援を通じ、人は感謝の気持ちと善良な心を持たなければならないと知りました。

2013年、ある特別な知らせで私の人生は一変しました。まるで天使に寵愛された幸運児のように、私は昆明市女子中学に入学できました。3年間の高校生活では、経済的に何の心配もなく、ただひたすら勉強に専念しました。皆様がいてくれたおかげで、安心して勉強できました。

2016年の大学入試の成績はぱっとしませんが、昆明市女子中学での3年間は、私の一生の



梁金芬さんの里親サポーター▲
丁勇軍さん

貴重な財産です。大学時代の数年間も、ずっと春蕾クラスでの毎日を懐かしんでいました。勉強もひたすらがんばりました。私を支えてくれた皆様のように、助けを必要とする子どもたちを、自分の力で助けられるようになりたかったからです。ですので、大学では教育支援活動にも積極的に参加しました。ちっぽけな力でも、留守児童の子どもたちに宿題を教えたり一緒に遊んだりして、その笑顔を見るたび、私は子どもたちより幸せだと思っていました。

現在、私は結婚して小さな家庭を持ち、とても幸せです。ある企業で人事の仕事していますが、ここでも昆明市女子中学の影響を受けています。どんなことにも感謝の気持ちで真面目にとりくみ、上司から評価されています。これが私の昆明市女子中学卒業後の経歴です。昆明市女子中学で学べたから、皆様に助けてもらったからこそ、私の人生は大きく変わりました。生活だけでなく、仕事でも考え方も、全てが私の一生の財産です。

2021年3月20日2016年 卒業生 梁金芬
(里親サポーター：丁勇軍さん)
翻訳：渡部優美さん

連載

「25の小さな夢基金」Vol.9

卒業生の今

許燕聡さん

2014年入学 チンポ族

夢に向かい頑張っている春蕾卒業生支援への感謝のお手紙が届きました

協会のおじさま方、おばさま方こんにちは！

私は2017年卒業の許燕聡です。私は高校卒業後、専科(専門課程)に進みました。専科は卒業しましたが、学歴が足りないと思ったので本科への試験を受け、幸いにも努力して合格できました。今は雲南民族大学の一年生です。

在校中に教員資格を取ろうと思っていません。また初級会計資格、英語四級も取りたいです。公務員の資料も見えています。公務員試験はとても難しく、たくさん準備をしなければなりません。在校中に準備をして卒業する頃に一回で合格したいです。もちろん、単位を落としたり処分を受けたりせず、順調に卒業するつもりです。

時間が過ぎるのはあっという間です。呉淑敏おばさまからずっと支援していただき、毎年お手紙を受け取りました。お手紙では挨拶だけでなく、激励や小さなプレゼントもいただきました。協会からのサポート



は本当に大きく、協会がなければ呉おばさまと出会うこともできず、高校も無事卒業できたかどうか分かりません。私は農村出身で、協会はわが家の経済的負担をすごく減らしてくれました。協会の皆さんと呉おばさまに心から感謝しています。ありがとうございます！

2014年入学 第9期生
許燕聡(チンポー族)

翻訳：栗田久里子さん
(「25の小さな夢基金」サポーター・翻訳ボランティア)

日本雲南聯誼協会の皆様へ 心から敬意を

「25の小さな夢基金」サポーター

安藤哲雄さん

「はい、これ、お土産」安藤哲雄さんは事務所にいらっしゃるたびに事務局職員に差し入れを持ってきてくれ、いつも温かい声をかけてくれます。貧しく、教育を受けることができない「25の小さな夢基金」の春蕾生を何とか高校を卒業させたいとの思いで里親サポーターとしてこれまで2名の春蕾生をご支援いただいております。

私が日本雲南聯誼協会を知ったのは5年ほど前ですが、この短い間にその活動内容と従事する皆様のご苦労を垣間見て目を見張り、このような活動をして人生を歩んでいる人たちを見て、目からうろこが取れ、今までの自分の人生は何をしてきたのかと深く反省するようになりました。営利主義優先の昨今、初鹿野理事長の営利を排した崇高な運営姿勢がスタッフにも浸透し、見ても爽やかな気分になってきます。

初鹿野理事長の崇高な気持ちが接する相手にもよくわかるのでしょうか。中国に同行した時にも驚きの連続でした。人はどのようなボランティアをし、どのような友を持ち、どのような生活をして過ごしているかで、価値がわかると言われますが、まさに初鹿野理事長の人格が見えます。



安藤哲雄さん(中央)

日本では勉強をさせようとしてもしない子どもがいますが、世界には勉強したくても経済的な理由や国政の事情などで学校へ行けない子どももいます。このような子どもに手をさしのべている日本雲南聯誼協会へ改めて賛同したいと思います。貧者の一灯で幸せを掴むことができる子どもがいると思うと、私も大きな幸せを感じられます。

2年前、中国雲南省に訪問した時に接した中国人の個々の人たちに親切にいただいたことが忘れられません。他人に優しくしても損はないと思います。他人の幸せを喜べるようになれば本当の大人になれるような気がします。

私も遅きに過ぎたと思いますが、日本雲南聯誼協会を知り、初鹿野理事長と交流ができたことで人の笑顔が嬉しく思えるような大人になれるような気がします。

これからも日本雲南聯誼協会の方々との交流を深めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

CONAP-JP 株式会社
取締役会長 安藤哲雄

連載

こんにちははCSR

—協会を支えてくださる協力企業からのメッセージ—

第27回●株式会社日商平野

八王子市を日本一わくわくする町に！



セミナー事業、レンタルサーバーの販売などを手がける株式会社日商平野は、協会設立の地でもある八王子にあります。5代目代表取締役、平野雅之さんによると同社は一風変わっています。一般的に会社の事業は代々受け継がれますが、同社は創業時から「目の前のお客様の困りごとを解決する」という理念を掲げ、さまざまな創業を繰り返しているからです。手段に固執せず、お客様が抱える問題を解決することをモットーとし、現在は8つほどの事業

企業概要

1962年の創立以来、「お客様のために一生懸命」をモットーにセミナー事業、レンタルサーバーの販売・レンタル、ビジネス本や複合機などのOA機器リース・販売、不動産やホームページ制作事業などを展開。

所在地：〒192-0153

東京都八王子市西寺方町352

TEL：042-651-1000 FAX：042-651-7035

HP：http://nisshohirano.co.jp/



代表取締役 平野雅之さん

を行っています。

地域密着と同時に「未来をつくる子どもたちに夢を持ってもらおう」と、2017年からは「どりむフェスタ」という親子参加型のイベントも開催しています。毎年8月に開かれる同フェスタには、ヨーヨーの世界チャンピオンなど八王子にゆかりのある世界的アーティストが集まり、子どもたちは未体験の文化に触れることができます。平野さんは「子どもたちが可能性を広げ、輝きを忘れない大

人になってほしい」と語ります。

ネットの普及に伴い、協会にもネットを活用した交流会などを行ってほしいそうです。山奥の子どもたちの生活や雲南省の今をオンラインで伝え、日本と現地の方が交流する機会を設けては?という提案をいただきました。常識にとらわれず、地域の人々の豊かな暮らしを実現するため、平野さんは常に未来を見つめています。

※CSR=Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任) : 利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもつこと

協会ボランティア通信

連載 第20回 大宮支部特集

人と人の笑顔をつないでくれる

佐藤正典さん(会員・「25の小さな夢基金」サポーター)

支援していた春蕾生と佐藤正典さん(右)▼

雲南省との最初の出会いは1996年夏、留学していた北京から寝台列車に揺られること2泊3日、一人旅で不安と期待のなか到着したのが昆明でした。北京



とは違い雲南は青空と山、川、水田が広がり日本の田舎に着いたかのような懐かしさを感じさせてくれました。大理では知り合った白族の家を訪問することができ、食事

をご馳走になり実際の生活や民族衣装を拝見してますます少数民族への興味が沸きました。雲南への気持ちが抑えられず卒業後1999年には雲南民族学院に短期留学をしてしまいました。長期休みには現地で直接民族衣装を見るためにハニ族、ジノー族、ワ族、サニ族などの村を訪れ、見ず知らずの外国人にもかかわらず笑顔で貴重な衣装を拝見していただき、食事をご馳走していただいたり、泊めていただいたり大変な親切を受けました。

親切にいただいたので日本でも何か少数民族の手助けをすることができないか

若くてイケメンで、中国語もしゃべれる好青年というのが佐藤さんの第一印象でした。入会してから大宮支部の活動に積極的に参加し、若い力を発揮してくれています。また親友の横山さん一家を紹介していただきました。横山さんの奥さんは雲南省出身で、今では私の大親友です。佐藤さんはパソコンが得意で、雲南

少数民族を紹介するバッジを作ってみるにプレゼントしてくれました。今は、農業の仕事をしていて、忙しい中でも支部の活動に参加してくれています。時々佐藤さんが作った野菜をいただくこともあります。中国の野菜もいっぱい作ってくださいね。

大宮支部長 寺内明子

と置いていたところ、以前に知り合いから聞いていた日本雲南聯誼協会のことを思い出しました。その時ちょうど大宮支部で写真展があると聞き早速訪問してみたら、素敵な写真と寺内支部長を始め会員の皆さんが雲南のことや協会の活動のことを丁寧に教えていただき直ぐに入会しました。その後様々なイベントや新春パーティの活動に楽しく参加させていただいています。

また活動の一環で「25の小さな夢基金」にて今まで二人の生徒を支援させていただきました。手紙でのやりとりでしか子どもたちの夢や学校生活を知ることができずでしたが、2014年に一度だけ卒業式に参

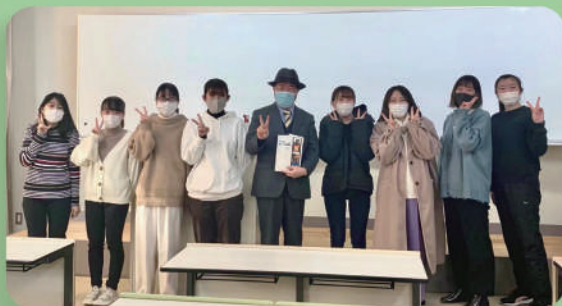
加することができました。親元を離れ寮生活で頑張ってきた子どもたちと直接話しができ、笑顔を見ることができたのはとても感慨深いものがあり、支援してきて良かったなと感じました。二人とも無事大学に進学できたと聞いたときはとても嬉しく、今後の彼女たちの成長を楽しみにしています。今現在活動自粛中にて皆さんとお会いできず美味しい雲南料理が食べられないのは残念ですが、協会の活動、雲南に少しでも興味をもっていただけるように微力ながら今後ともお手伝いしていきたいと思っています。

佐藤正典

コラム 行雲流水①

「踏み出す勇気」

名古屋支部の董紅俊さんからコラムが届きました



▲中央が董紅俊さん

僕は現在七つの大学で中国語を教え、生計を営み、楽しんでいる。

秋学期の最終授業の日のことだった。オンライン授業が主流の昨今、この大学では対面授業をしてきた。感染リスクを伴うだけに、いつも内心ハラハラしていた。

学生の皆さんはよく頑張ってくれた。最後に「皆さんはまだ若いから、人生はこれからです。この先も困難や挫折に遭遇することがあるでしょう。でも諦めず、前向きに頑張って下さいね」と励ましの言葉を贈った。

いつもなら、授業が終わると学生たちはさっさとテキストなどをカバンにしまい、教室を出るが、今日は様子が違う。皆さんひそひそとしゃべり、僕をチラチラと見る人も。

「どうしたの?期末テストについて何かご質問でも?」と思わず尋ねた。

「違います。先生、お願いがあります。私たちと記念写真を撮っていただけませんか?」と、学生の一人が顔を真っ赤にして切り出した。

珍しく敬語まで使って。

「いいですよ、喜んで!」と、僕は二つ返事だった。「やった!嬉しい!」と、二、三人の学生は歓声をあげて飛び上がった。

そして僕を真ん中に挟んで、みんなピースサインして写真を撮った。もちろん全員マスク姿で。

恐らく、学生たちは先生と記念写真を撮りたいけれど、日頃少し厳格な先生が応じてくれるか心配だったのだろう。しかし、僕にとって学生たちと記念写真を撮るのはとても嬉しく、むしろ願ってもないことだった。

人生の旅でいろいろと迷ったり、困惑したりすることがある。勇気を出して一歩足を踏み出せば、案外新天地に繋がるかもしれない。董紅俊(日中青少年交流部長)

行雲流水・・・空行く雲や流れる水のように、深く物事に執着しないで自然の成り行きに任せて行動するたとえ。また、一定の形をもたず、自然に移り変わってよどみがないことのとえ。

NEWS

15頭の野生アジアゾウ、500キロ越え北上



こんにちは!6月より、昆明代表処(雲南支部)の首席代表に就任しました蘇鑫と申します。

最近、日本のニュースにも取り上げられた15頭の野生のアジアゾウの北上についてご紹介します。

私の実家は紅河ハニ族族自治州石屏県にあり、普段シーサンパンナに生息する「アジアゾウ」の一群は、5月16日に石屏県区域に初めて入り、その後およそ1週間滞在しました。ちょうど森林警察をしている父が管轄している地域だったため、父は毎日家に帰らず、昼夜ずっとゾウの進路予測等、近くから見守っていました。アジアゾウは中国の国家1級重点保護野生動物に指定されており、ゾウと地域の住民のどちらも守らなければいけないのは父の仕事でした。

このゾウの群れは昨年12月から生息しているシーサンパンナから北上しはじめ、あちこち遊びながら、約500キロの大移動を経て、6月上旬に昆明市郊外にも到達しました。ゾウが北上する原因は群れのリーダーが迷子になった説や5月に昆明市で開催される予定だった生物多様性条約締結国会議(COP15)に参加するため!といった笑い話も出ましたが、ゾウの北上により農作物の被害は少なくとも日本円約1億1700万円に上りました。幸いにも人間とゾウどちらもケガなどの報告はありません。

★アジアゾウはアジア大陸に現存する最大の陸上野生動物で、中国国内では主に雲南省のシーサンパンナ、普洱、臨滄3州・市に分布しており、その数は300頭ほどです。



▲北上中に新たな命を授かりました

会員募集 & 会費納入のお願い

正会員・賛助会員・法人会員の皆さまへ

4月初めに2021年度会費請求書を郵送させていただきました。お早めにご納入いただけますようお願い申し上げます。すでに納入いただいた皆さまには感謝申し上げます。ありがとうございました。

協会活動は皆さまからの会費とご寄付で成り立っています。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

1 銀行振込

三菱 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通 1300380
 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
 (トク化エドカド ウカジソニコク ノウカソルンギョウカイ)

2 郵便振替

振替口座 00100-8-610935
 加入者名 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
 ※ 振込手数料はご負担いただけますようお願いいたします。

▼お申し込みは…

<http://www.jyfa.org>

▼詳細・お問い合わせ

東京本部事務局
 TEL.03-5206-5260 (平日 10~17時)
 ✉ yunnan@jyfa.org

※ 正会員と法人会員には総会における議決権があります。賛助会員は事業・活動に賛同し、賛助していただくため議決権はありませんが、賛助会費は寄付金控除の対象となります。
 ※ 4月1日から3月31日までを1年度とします。
 ※ 年度途中でご入会の場合は初年度の会費は入会月から年度末(3月)まで月割で計算させていただきます。
 会員には会員証を発行し、会報誌『彩雲の南』を年4回(2月、5月、8月、11月)、お送りいたします。

認定NPO法人日本雲南聯誼協会へのご寄付は寄付金控除の対象となります。協会では随時、皆様からのご寄付を受け付けており雲南少数民族への教育支援、協会運営のために大切にに使わせていただきます。

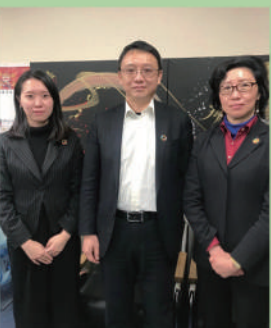
当協会は東京都より認定を受けた「認定NPO法人」です。認定NPO法人への寄付は税制優遇(寄付控除)が受けられます。詳細は、協会公式HP: <http://www.jyfa.org> → 支援に参加

お知らせ

日中文化交流のプラットフォーム
 中国文化センター初訪問

中国文化センター(東京都港区)を2月25日に訪れました。同センターには2018年8月の「七彩雲南雲南文化展」でご協力いただき、羅玉泉センター長に感謝をお伝えするとともに協会の設立20周年記念事業の一環の写真展について話しました。

同センターでは中国関連の展覧会や講演会、中国語教室、映画上映等を行っており、訪問時には日中芸術交流展「響き合う世界」が開催されていました。中国に関する書籍、新聞雑誌、テレビ番組やインターネット等の情報も提供しています。興味のある方はぜひ一度行ってみてください。



▲羅玉泉センター長(中央)



▲センター外観

ひろげよう支援の輪
 新規会員募集中

1か月500円からできる教育支援
 雲南少数民族の子どもたちに豊かな未来を!
 協会を応援して下さる会員を募集します

正会員	一口 6,000円 (500円/月)
賛助会員	一口 12,000円 (1,000円/月)
法人会員	一口 18,000円 (1,500円/月)

※法人会員は3口以上でお願いします

住所・電話番号等変更の連絡のお願い

新年度を迎え、異動された方もいらっしゃると思います。住所や電話番号等の変更がありましたら事務局までご連絡をお願いします。皆様のご協力をお願い申し上げます。

クレジットカードでのご寄付が可能になりました!

この度、皆さまからのご要望にお応えし、今まで以上に安全で快適にご支援いただけるようクレジットカード支払いを導入しました。

※クレジットカードからのご寄付も税額控除の対象となります。VISA/MASTER、AmazonPay 対応
 皆さまからのご寄付を心よりお待ちしております。

シンカブル 団体を探す



お知らせ

中国動画サイト西瓜視頻 協会活動紹介動画をアップ

協会会員で「25の小さな夢基金」サポーターでもある吳嵐さんにご協力いただき、協会活動を紹介する動画を中国の動画サイト「西瓜視頻」にアップしました。スマートフォンでも手軽に見ることができます。今後ともご期待ください!

動画「十年樹木 百年樹人 爱心在这里凝聚!」
 URL <https://www.ixigua.com/6934972497615913508>
 動画「25の小さな夢基金」
 URL <https://jyfa.org/xiguashipin2/>



協会の<西瓜視頻>について

<西瓜視頻>は直訳すると「スイカビデオ」という意味で、中国のネット大手企業が運営する中国語版YouTubeです。音楽、グルメ、ファッションなど多彩なコンテンツがあり他人が作った動画を見るほか、自分の作ったコンテンツをアップすることができます。自分の知らない世界をのぞくことができ、多くの人がとてもためになると言っています。

アプリは2020年までに約10億回ダウンロードされており、毎日の動画再生回数は約40億回に達します。良質なビデオをアップすればファン

▶動画制作にご協力いただいた吳嵐さん



が集まり、ほぼコストゼロで組織や企業の宣伝ができます。初鹿野理事長のアドバイスを受け、協会の公式アカウントを作り動画を2本アップしました。1本目は雲南貧困地区に50の小学校を建てる支援プロジェクト、2本目は少数民族女子高校生を援助する春蓄計画について紹介しています。それぞれすでに300回以上再生されています。協会の活動や日中の交流行事をもっと多くの人々に知ってもらうため、今後は協会のイベントなどに関する動画を順次アップしていきます。ご協力の程どうぞ宜しくお願いします。

吳嵐(会員、ボランティア)

イベント

イベント情報

「25の小さな夢基金」
 第13期生オンライン卒業式

日時: 7月1日(木)
 場所: 昆明市女子中学

ビデオ会議ソフトを使い、今年も「25の小さな夢基金」春蓄生の卒業式を開催いたします。日時などの詳細が決まりましたら協会公式HPなどにてお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

「25の小さな夢基金」日雲高校生国際交流会

日時: 10月19日(火) ※予定
 場所: 昆明市女子中学他

第16回雲南省少数民族教育支援
 チャリティゴルフコンペ

日時: 10月頃予定
 場所: 未定

協会設立20周年記念事業写真展

日時: 今秋
 場所: 中国文化センター
 東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル1F

詳細が決まりましたら協会公式HP等でお知らせします。

協会20周年記念誌

『輝きを増すその先へ』刊行

昨年、協会は皆さまに支えられ設立20周年を迎えましたが、記念式典等の記念事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期・中止となり、先の活動が見えない中、経費節約のため会員であるボランティア編集長の平田栄一さんを中心に事務局スタッフでコツコツと編集作業を行い、1年かかってやっと記念誌が完成し、発行の運びとなりましたことをご報告申し上げます。

この20年間、皆様に応援していただき行ってまいりました様々な活動をまとめた記念誌となっております。完璧ではございませんが、是非とも皆様にご覧いただければと思います。

『輝きを増すその先へ』表紙▶



東京本部事務局だより

東京本部事務局は皇居のお堀のすぐそばにあり、毎年、桜の季節にはお堀沿いのきれいな桜を見ることができます。四谷から飯田橋へと緑地遊歩道で繋がる桜の名所で、今は新緑に覆われた涼しい気持ちの良い散歩道。是非事務所へもお気軽にお立ち寄りください。



理解は絆を強くする

挑戦! 中国百科検定⑦

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される状況でしたが、去る3月20日に第9回中国百科検定試験を、北は北海道から南は九州大分、熊本まで全国19の会場で開催しました。各会場はガイドラインに沿って十分なゆとりを設け、消毒・検温・通気等丁寧に行いました。

今回受験いただいた皆様は11歳の小学生から91歳の方まで。問題の出し合いをして準備万端で試験に臨まれた親子受験生の姿も。



中国百科検定ウェブサイト

Q. 中国の国土面積は世界で何番目に広い?
 (第9回初級四択問題より)

中国百科検定は初級から3級、2級、1級、そして特級の4分野(地理、政治経済、歴史、文化・芸術・風俗習慣)と8つの試験がございます。今回が9回目ですので、はやい方はすでに8つの試験を「無敗全階級制覇」され、特級の分野をなくした「スーパー特級」の新設を望む声や、いやいや「各級満点で合格するまで受け続ける」という受験生の声に頭が下がる思いです。

次回(第10回)は11月27日(土)を予定しています。実施会場は6月下旬ごろに中国百科検定ウェブサイトでお知らせする予定です。是非QRコードから訪問してください。

●お問い合わせは日本中国友好協会
 〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル5F
 TEL.03-5839-2140 FAX.03-5839-2141
 e-mail: nicchu@jcf-net.gr.jp

解答
 (ロシア、カナダ、アメリカに次いで) 4番目

編集後記

先日、「25の小さな夢基金」で支援する生徒にプレゼントを買いに行きました。「封筒に入るサイズ」という決まりを忘れて大きな物を買ってしまい、再度出かけました。でも「これを見たらどんな顔をするんだろう」と思いながらプレゼントを選ぶのは楽しいものです。直接顔を合わせられなくても、びっくり箱を仕掛けていようなわくわくした気分になりました。喜んでくれる笑顔を想像して自分も嬉しくなれる、というのも支援する醍醐味ですね。(編集長・木本一彰)